

## 平成26年度 第2回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成26年8月21日（木）18:30～20:30  
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 10名…柏崎、浅羽、神津、澤田、根本、早川、古田、前川、吉田（正）、井手之上  
欠席者 2名…吉田（弘）、井上  
事務局 2名…市民生活課 山中、川瀬  
指定管理者 2名…NPO法人YMCA コミュニティサポート 高橋、大島（理）  
傍聴者 0名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声  
2 夏の市民活動・ボランティア体験2014中間報告  
3 のたろんフェア2015企画案  
4 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体  
5 市民公益活動団体継続活動者表彰について（非公開）  
・ サポートセンターにおける紙コップ式自動販売機について（案）

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・例年利用者の減る8月には子ども向け工作イベント「あつまれサポセン キッズひろば！」を3日間開催し、多くの来場者があった。今後もこれまでセンターを知らなかった市民に足を運んでもらえるようなイベントを考えていきたい。
- ・利用者の声として、2ヵ月連続で館内が暗いという意見があった。震災以降節電のため天井照明を間引いているが、年齢や障害のある人もいるので明るさが必要という声はもつともであり、スタッフも気を配って対応していくことで情報共有した。
- ・子育て中のお母さんからベビーチェアがほしい、との意見があった。市とも相談して用意できればと考えている。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・利用者数が減って利用団体が増えている。大人数での利用、ミーティングスペースの利用が少ない。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・館内でもベビーカーをそのまま使ってよいか。

→もちろん可能。要望のあったベビーチェアが、どのようなタイプがよいのか利用者の要望をよく聞いていきたい。授乳スペースもあると望ましいが、それは施設整備の話になるので、相談していきたい（指定管理者）

- ・飲酒、喫煙などの迷惑行為については。  
→見かけ次第声をかけて注意している。（指定管理者）

### **1－（2）夏のボランティア・市民活動体験 2014 中間報告**

指定管理者から資料 2 に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・参加団体のポスターコンテスト、P-1 グランプリの投票受付中。楽しみながら市民活動をするともに、団体のポスター作りのレベルアップにも役立ててほしいという企画。
- ・8月の台風により、複数のイベントが中止になってしまった。
- ・新たにエントリーした団体に参加者が多く集まった。今後も新しい企画を積極的に集めていきたい。
- ・学校で紹介されてきた、という中学生の参加もあった。

### **1－（3）のたろんフェア 2015 企画案**

指定管理者から資料 3 に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・現時点では今回の実行委員が決まったところで、本日配布の企画案については例年通りのもの。これから実行委員会で検討していく。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・見た目を華やかにして、楽しい雰囲気を出した方がよいのでは。
- ・今年度新たにデータベース登録した団体の紹介をする時間をつくってはどうか。

## **2 議題**

### **2－（1）データベース登録団体と公益性の判断について**

指定管理者から資料 4 に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・会員数が 1 人でもよいのか。  
→登録上は問題ない。（指定管理者）

### **2－（2）紙コップ式自動販売機について**

市民生活課から当日配布資料「サポートセンターにおける紙コップ式自動販売機について（案）」に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・現在館内に設置されている紙コップの自動販売機はリサイクルのための紙コップ回収機がついている。紙コップを回収機に入れると 10 円が戻ってくるデポジット式。サポートセンターを開設するにあたって開かれた検討会議にて、リサイクルやエコに配慮したタイプを入れるべきという意見があったため、導入された。
- ・同タイプの自動販売機は近辺では 1 社のみ取り扱いであるため、開設時に導入して以来ずっと同じ業者をお願いしている。
- ・一方出入口通路にある缶・ペットボトルの自動販売機は一般競争入札で業者を選定しており、業者が市に納める金額も大きく異なる。
- ・市としては契約事務の適正化や昨今の市の財政状況も鑑みて、一般競争入札への切り替え（紙コップリサイクル型ではないものになると思われる）など、他の選択肢も検討すべきかと考えるが、いかがか。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・紙コップ自動販売機はセンターの奥まったところにあり目立たない。出入口通路の自販機と並べておく方がいいのでは。  
→紙コップ自動販売機は水道を使用するので、配管改修を伴う移動は難しいと思われる。(市民生活課)
- ・紙コップは安価だし、高齢の人にも飲みやすいので、需要はあると思う。
- ・紙コップの自動販売機という条件で一般競争入札にかけた場合、業者が市に納める金額はだいぶ違うか。  
→現在は行政財産の目的外使用ということで使用料は市の基準で統一された金額（年間 6,000 円強）だが、一般競争入札にかけた場合は貸付料として大きく増えると思われる。(市民生活課)
- ・リサイクルをすること自体費用がかかるもので、必ずしもエコとは言い切れない面もある。リサイクルをしている、という意識を育てるためのものか。
- ・デポジット式でない自動販売機に切り替えれば飲料の販売単価が下がる可能性はある。しかしその場合紙コップはリサイクルの原料ではなく、ただのごみになる。
- ・リサイクルのために回収機に入れている人と、10 円が戻るから回収機に入れている人と、どちらが多いかと言えば、後者の方が多いようにも思う。
- ・この施設の利用者はそもそもリサイクル意識を既に持っているだろうし、一日あたり数人の利用者のために終日回収機が電気を使用して稼働していることも、省エネを考えるとメリットは少ないのでは。
- ・市としては競争入札にしたいのでは。  
→財政的にそういう流れがあるのは確かだが、施設利用者の意見は尊重したい。(市民生活課)
- ・デポジット式をやめて販売単価が下がれば利用者としてはありがたい。
- ・これまでに出了た意見を参考に市としてよい方針をたててもらいたい。

## **2 - (3) 市民公益活動継続活動者表彰制度について**

市民生活課から制度の概要と、指定管理者から資料 5 に沿って表彰対象推薦候補団体について説明した。

※内容については非公開とする。

## **連絡事項**

(指定管理者)

- ・NPOのための法務・税務他なんでも相談会（8月23日）のお知らせ。
- ・プロボノフォーラム（9月6日）のお知らせ。
- ・企業とNPOと大学のパートナーシップミーティング（9月9日）のお知らせ。
- ・横須賀『生涯現役』フォーラム（11月29日）と協力企画募集のお知らせ。

(事務局)

- ・次回の懇話会は11月20日（木）実施予定。
- ・意見交換会は10月16日（木）実施予定。  
→次回の意見交換会では、懇話会でサポートセンターに対して何をすべきか、何ができるのか、ということをテーマに話し合いたい。

以上